

様式第17号

任 命 書

あなたを宗教法人「」規則第 条（第 項第 号）の規定により、
本法人の に任命します。

年 月 日

宗教法人「」
代表役員 印

様

〔注〕

選定書、選任書、委嘱書等は、この様式に準じて作成します。

年 月 日

群馬県知事

あて

所在地

宗教法人「 」

(電話 — —)

代表役員 印

包括法人「 」

代表役員変更届

このたび代表役員を下記のとおり変更し、宗教法人法第53条の規定による変更の登記をいたしましたので、同法第9条の規定により、登記事項証明書を添えてお届けします。

記

- 1 前代表役員氏名
- 2 新代表役員氏名
- 3 新代表役員住所
- 4 変更理由 前代表役員の任期満了・辞任・死亡・その他 ()
- 5 就任年月日 年 月 日
- 6 就任登記年月日 年 月 日
- 7 添付書類 登記事項証明書

代 表 役 員 名 簿

(任期 年、住職在任中)

歴 代	資 格	ふりがな 氏 名	生年月日	住 所	就 退 任			備考
					就 任 年 月 日 -----	登 記 年 月 日 -----	所轄庁届 出年月日 -----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	
					-----	-----	-----	

(記載例)

代表役員名簿

(任期~~〇~~年、住職在任中)

歴代	資格	ふりがな 氏名	生年月日	住所	就退任			備考	
					就任 年月日 ----- 退任 年月日	登記 年月日 ----- 登記 年月日	所轄庁届 出年月日 ----- 所轄庁届 出年月日		
1	代表 役員	ぐん ま た ろう 群馬太郎 [明 芳]	〇.〇.〇	前橋市大手町〇丁目〇 番〇号	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	住職就任 (〇.〇.〇) (死亡)	朱線
	代表 役員	あか ぎ ぐん ま 赤城群馬 [聖 顕]	〇.〇.〇	前橋市大手町〇丁目〇 番〇号	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	住職	
3	仮代表 役員	はる な じ ろう 榛名次郎	〇.〇.〇	高崎市高松町〇番地〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	不動産 売却	朱線
4	代表役 員代務 者	みょう ぎ はな こ 妙義花子	〇.〇.〇	前橋市大手町〇丁目〇 番〇号	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	〇.〇.〇 〇.〇.〇	海外長 期旅行	朱線
5					-----	-----	-----		

[注]

- 資格欄は、代表役員、代表役員代務者又は仮代表役員の区別を記入します。
なお、宮司、住職、教会長など他に占める職については、備考欄に記入します。
- 氏名欄は、戸籍上の姓名を記入し、ふりがなを付けます。僧名がある場合は、〔 〕書きで付記し、ふりがなを付けます。
- 住所欄は、住民登録をしてある現住所を記入します。
- 就任年月日は、規則の定めにより選定され、その受諾をした日を記入します。
- 退任年月日は、死亡の日、辞任した日、解任の日（通知が到着した日）等を記入します。
- 包括団体への届出等については、その年月日等を備考欄に記入します。
- 退任者は、朱線で抹消します。
- 任期は、規則に定めるところにより記入します。
- 補欠として就任したときには、その旨を備考欄に記入します。
- 代表役員が変更（重任）したときは、登記後その抄本によって退任の欄に記入し、備考欄にその旨を記入し、必ず行を改めて氏名、就任年月日、登記年月日等を記入します。
- 登記は、変更があれば2週間以内に行い、登記完了後速やかに登記事項証明書を添えて、その旨を知事に届け出るとともに、その年月日を記入します（仮代表役員の登記は不要です）。

責 任 役 員 名 簿

(任期 年、代表役員を除く責任役員定数 人)

資格	ふりがな 氏 名	生年月日	住 所	就 退 任			備考
				就任 年月日	登記 年月日	所轄庁届出 年月日	
責任役員				-----	-----	-----	
責任役員				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	

[注]

- 1 この名簿には、代表役員以外の責任役員について記載します。
- 2 資格欄は、責任役員、責任役員代務者、仮責任役員の区別を記入します。
- 3 備考欄は、総代、信徒、関与入、法類などの区分について、記入します。
- 4 代表役員名簿の〔注〕を参照してください。

様式第21号

(その他の役員名簿)

役員名簿

(任期 年、定数 人)

役職名	ふりがな 氏名	生年月日	住所	就 退 任			備考
				就任 年月日	登記 年月日	所轄庁届 出年月日	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	
				-----	-----	-----	

[注]

- 1 この名簿には、宗教法人規則で設けられた機関ごとに作成します。
- 2 備考欄は、選出別等を記載します。

様式第22号

財 産 目 録

(年 月 日)

区分・種別		数 量	金 額		備 考
資 産 の 部					
特別財産					
特 別 財 産 計					
基本財産					
基 本 財 産 計					
普通財産					
普 通 財 産 計					
資 産 合 計 (A)					
負 債 の 部					
負債					
負 債 合 計 (B)					
正味財産 (C) = (A) - (B)					

(記載例)

財 産 目 録

(〇年〇月〇日) 単位:円

区分・種別		数 量	金 額		備 考
資 産 の 部					
特別 財産	1 宝 物 本尊像	1 体	—	—	算定不能
	2 什 物 祭壇等	7 点	12,000,000	12,000,000	
特 別 財 産 計				12,000,000	
基本 財産	1 土 地 境内地	3 筆	2,000m ²	60,000,000	前橋市大手町〇-〇-〇 礼拝施設 前橋市大手町〇-〇-〇 教職舎
	2 建 物 教会堂		500m ²	20,000,000	
	庫裏		200m ²	16,000,000	
	3 定期預金		3 口	10,000,000	
基 本 財 産 計				106,000,000	
普 通 財 産	1 土 地 大友町農地	6 筆	5,000m ²	20,000,000	
	紅雲町宅地	1 筆	200m ²	10,000,000	
	2 乗用自動車		3 台	6,000,000	
	3 図 書 古今和歌集写本	外	300冊	15,000,000	
	4 有価証券 国債		5 口	10,000,000	
	株券		10 口	20,000,000	
	5 普通預金		3 口	5,600,000	
6 現金			100,000		
7 貸付金			500,000		
普 通 財 産 計				87,200,000	
資 産 合 計 (A)				205,200,000	
負 債 の 部					
負 債	1 借入金 〇〇銀行借入金			30,000,000	教会堂庫裏建設資金
	2 預り金 源泉所得税 住民税			400,000	
負 債 合 計 (B)				30,400,000	
正味財産 (C) = (A) - (B)				174,800,000	

様式第23号

収支予算書及び収支計算書の収支科目一覧表（参考例）

収入及び支出の科目について、一般的なものを示しますが、各法人の特性によって科目名を変えたり、科目を減らしたり、まとめたりしても差し支えありませんが、いったん定めた科目は、毎年度継続して用いてください。

1 収入の部

科 目	説 明
1 宗教活動収入	主として宗教法人本来の活動による収入
(1) 宗教活動収入	宗教活動に対して、信者の自由な意思によってなされる収入、社入金、布施収入、献金収入、御供収入など
(2) 会費収入	宗教法人の運営のため信者から徴収する会費等の収入。維持会費、護持会費、月定献金など
(3) 寄附金収入	宗教法人の運営のために寄附された(1)及び(2)以外の収入
(4) 補助金収入	宗教法人の運営のための包括宗教団体等からの補助金、助成金等
(5) ○○○○○○○○○	
2 資産管理収入	資産の運用及び売却等に伴う収入
(1) 資産運用収入	預金、有価証券から生じる利子、配当金、不動産の一時貸付等の収入
(2) ○○売却収入	
3 雑収入	1及び2以外の収入
(1) 雑収入	
4 繰入金収入	特別会計からの繰入金
(1) ○○特別会計繰入金	○○特別会計からの繰入金
(2) △△特別会計繰入金	△△特別会計からの繰入金
5 貸付金回収収入	
(1) 貸付金回収収入	金銭の貸付の返済による収入（注2）
6 借入金収入	宗教法人の外部からの借入金による収入（注3）
(1) 借入金収入	
7 特別預金取崩収入	一定の目的で積み立てられた預金を取崩して使用する場合
(1) 基本財産預金取崩収入	基本財産として設定された預金を取崩して使用する場合
(2) ○○積立預金取崩収入	
(3) ○○○○	
8 預り金収入	宗教法人が支出する給与等から源泉徴収し宗教法人が一時預かる場合
(1) 源泉所得税	
(2) 住民税	
9 ○○○収入	
(1) ○○○収入	
10 前年度繰越金	前年度末における普通財産のうち、普通預金現金の合計で次年度へ繰り越す場合
(1) 前年度繰越金	

2 支出の部

科 目	説 明
1 宗教活動支出	宗教活動に直接要する経費
(1) 儀式行事費	宗教上の儀式、行事を行うための什器備品費、消耗品費など一切の経費、また、祭典費、法要費、礼典費、祭務費などを含む
(2) 教化布教費	教義を広め、信者を教化育成するための旅費交通費、通信費、印刷費、宗教者の研修費など一切の経費
(3) 慶弔費	法人としての交際に係る慶弔費
(4) 教師育成費	教師を養成するための宗教的育成の経費（注4）
2 法人管理支出 （維持費）	宗教法人の管理、運営、維持に必要な経費
(1) 会議費	責任役員会その他の機関の会議に要する経費
(2) 事務費	事務用消耗品、通信運搬費、水道光熱水費等の事務諸経費
(3) 旅費・交通費	法人の事務処理等のために要する旅費交通費
(4) 負担金	宗教法人が包括団体等へ支払う諸負担金（注5）
(5) 諸会費	(4)以外の加入諸団体への会費、他の宗教団体との交際費
(6) 修繕費	建物、什器備品、車両等の修繕費用
(7) 火災保険料	宗教法人の所有物に係る火災保険料
(8) 公租公課費	宗教法人が負担すべき諸税
3 人件費	
(1) 給料手当	
(2) 社会保険料	社会保険料の事業者負担分
(3) 退職金	
(4) 福利厚生費	職員に対する福利厚生費用
4 繰入金支出	特別会計の資金補てんのための支出
(1) ○○特別会計繰入金支出	
5 資産取得支出	資産の取得に要する支出
(1) ○○財産○○取得支出	基本財産(普通財産)である土地(建物、有価証券)取得に要する支出
6 貸付金支出	(注2)
(1) 貸付金支出	
7 借入金返済支出	
(1) 借入金返済支出	
(2) 借入金利息支出	
8 特別預金支出	
(1) 基本財産預金繰入額	
(2) ○○積立預金支出	一定の目的のための積立預金への支出
9 預り金支出	
(1) 源泉所得税	
(2) 住民税	
10 予備費	
(1) 予備費	他の科目の予算不足に充当するための予備費
11 前年度繰越金	前年度末における普通財産のうち、普通預金現金の合計で次年度へ繰越す場合
(1) 前年度繰越金	

〔注〕

- この収入・支出科目別例については、一般会計についてのものです。
- 貸付金回収収入、貸付金支出及び不動産の一時貸付料は、法人税法上の収益事業に該当しないものだけを掲げます。
- その年度内の収入で返済する一時借入金は、収入・支出とせず、現金出納簿又は預金出納簿及び財産台帳の負債の部借入金で処理します。
- 住職等の子弟の学資金については、現物給与とされる場合があることに注意します。
- 宗教法人が加入している共済の負担金も含まれます。

様式第24号

(記載例)

○年度収支予算書

1 収入の部

(自○年○月○日 至平成○年○月○日)

単位:円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 宗 教 活 動 収 入	11,020,000	10,020,000	1,000,000	
1 宗教活動収入	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
2 会費収入	1,000,000	1,000,000	0	
3 寄附金収入	10,000	100,000	0	
4 助成金収入	10,000	100,000	0	包括法人から
2 資 産 管 理 収 入	100,000	50,000	50,000	
1 資産運用収入	100,000	50,000	50,000	
3 雑 収 入	0	0	0	
1 雑収入	0	0	0	
4 繰 入 金 収 入	200,000	200,000	0	
1 繰入金収入	200,000	200,000	0	収益事業特別会計から
5 預 り 金	400,000	300,000	100,000	
1 源泉所得税	300,000	200,000	100,000	
2 住民税	100,000	100,000	0	
収 入 合 計 (A)	11,720,000	10,570,000	1,150,000	
年 度 末 現 金 預 金 (B)	5,700,000	5,200,000	500,000	
収 入 合 計 (C) = (A) + (B)	17,420,000	15,770,000	1,650,000	

〔注〕

- 1 年度末現金預金とは年度末における普通財産のうち、普通預金及び現金の合計額とする。
- 2 一時借入金限度額 1,000,000円
- 3 各科目間の流用は、当該科目の当初予算額の5%を限度とする。ただし、人件費への流用は認めない。

2 支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 宗 教 活 動 支 出	5,000,000	4,400,000	600,000	
1 儀式行事費	2,000,000	1,500,000	500,000	
2 教化布教費	1,000,000	1,000,000	0	
3 慶弔費	500,000	400,000	100,000	信者の慶弔費
4 育成費	1,500,000	1,500,000	0	
2 法 人 管 理 支 出	2,150,000	1,750,000	400,000	
1 会議費	200,000	150,000	50,000	
2 事務費	350,000	200,000	150,000	
3 負担金	500,000	500,000	0	包括法人へ
4 修繕費	500,000	300,000	200,000	
5 保険料	100,000	100,000	0	
6 公課費	500,000	500,000	0	
3 人 件 費	5,350,000	4,350,000	1,000,000	
1 給与手当	5,000,000	4,000,000	1,000,000	
2 社会保険料	300,000	300,000	0	
3 退職金	0	0	0	
4 福利厚生費	50,000	50,000	0	
4 借 入 金 返 済 支 出	200,000	200,000	0	
1 借入金返済	200,000	200,000	0	
5 預 り 金 支 出	400,000	400,000	0	
1 源泉所得税	300,000	300,000	0	
2 住民税	100,000	100,000	0	
当年度支出合計 (D)	1,310,000	11,100,000	2,000,000	
前年度末現金預金 (E)	4,320,000	4,670,000	△350,000	
支出合計 (F) = (D) + (E)	17,420,000	15,770,000	1,650,000	

〔注〕

- 1 年度末現金預金とは年度末における普通財産のうち、普通預金及び現金の合計額とする。
- 2 一時借入金限度額 1,000,000円
- 3 各科目間の流用は、当該科目の当初予算額の5%を限度とする。ただし、人件費への流用は認めない。

2 支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 宗教活動支出	5,000,000	5,400,000	△400,000	
1 儀式行事費	2,000,000	1,500,000	500,000	
2 教化布教費	1,000,000	2,000,000	△1,000,000	
3 慶弔費	500,000	400,000	100,000	信者の慶弔費
4 育成費	1,500,000	1,500,000	0	宗教教師育成費
2 法人管理支出	2,150,000	1,750,000	400,000	
1 会議費	200,000	150,000	50,000	
2 事務費	350,000	200,000	150,000	
3 負担金	500,000	500,000	0	包括法人へ
4 修繕費	500,000	300,000	200,000	
5 保険料	100,000	100,000	0	
6 公課費	500,000	500,000	0	
3 人件費	5,350,000	5,350,000	0	
1 給与手当	5,000,000	5,000,000	0	
2 社会保険料	300,000	300,000	0	
3 退職金	0	0	0	
4 福利厚生費	50,000	50,000	0	
4 借入金返済支出	200,000	200,000	0	
1 借入金返済	200,000	200,000	0	
5 預り金支出	400,000	400,000	0	
1 源泉所得税	300,000	300,000	0	
2 住民税	100,000	100,000	0	
当年度支出合計 (D)	13,100,000	13,100,000	0	
前年度末現金預金 (E)	4,320,000	4,650,000	△330,000	
支出合計 (F) = (D) + (E)	17,420,000	17,750,000	△330,000	

貸 借 対 照 表

年 月 日現在 (単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
・現金預金		
・未収入金		
・貯蔵品		
・仮払金		
・		
・		
流動資産合計		
2. 固定資産		
基本財産		
・土地		
・建物		
・有価証券		
・		
・		
基本財産合計		
その他の固定資産		
・宝物及び什物		
・構築物		
・車両運搬具		
・器具備品		
・有価証券		
・		
・		
その他の固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
II. 負債の部		
1. 流動負債		
・未払金		
・前受金		
・預り金		
・		
流動負債合計		
2. 固定負債		
・長期借入金		
・		
固定負債合計		
負債合計		
III. 正味財産の部		
・正味財産		
(うち基本金)		
(うち当期正味財産増加額)		
負債及び正味財産合計		

(記載例)

貸借対照表

〇年〇月〇日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
・現金預金	3,125,800	
・未収入金	300,000	
・貯蔵品		
・仮払金		
・		
・		
流動資産合計		3,425,800
2. 固定資産		
基本財産		
・土地	180,620,000	
・建物	153,000,000	
・有価証券	10,000,000	
・		
・		
基本財産合計	343,620,000	
その他の固定資産		
・宝物及び什物		
・構築物	45,340,000	
・車両運搬具	8,400,000	
・器具備品		
・有価証券		
・		
その他の固定資産合計	53,740,000	
固定資産合計		397,360,000
資産合計		400,785,800
II. 負債の部		
1. 流動負債		
・未払金	800,000	
・前受金		
・預り金	84,300	
・		
流動負債合計		884,300
2. 固定負債		
・長期借入金	600,000	
・		
固定負債合計		600,000
負債合計		1,484,300
III. 正味財産の部		
・正味財産		399,301,500
(うち基本金)		(343,620,000)
(うち当期正味財産増加額)		(55,681,500)
負債及び正味財産合計		400,785,800

様式第27号

(記載例) (科目ごとの収入内訳簿)

(科 目) 宗 教 法 人 活 動 収 入

(自 年 月 日 至 年 月 日)

日 付	摘 要	現金出納簿当該頁	予 算 額	収 入 額	予算残高
○年○月○日	当初予算 (△年△月△日議決)		5,000,000円		
4月1日	施餓鬼 (群馬太郎)	1		5,000円	4,995,000円
4月5日	塔婆料 (利根川友也)	1		5,000円	4,990,000円
4月7日	供養料 (前橋さと美)	1		10,000円	4,980,000円
□月□日	増額補正 (□年□月□日議決)		500,000円		4,700,000円
合 計			5,500,000円	5,555,000円	△ 55,000円

- [注] 1 収支予算書の収入科目ごとに作成します。
 2 第1行目の予算額欄には、当初予算額を記入します。
 3 現金出納簿から転記する際に、同一日、同一科目について2以上の収入があるときは、摘要欄に「何々ほか」と一括して記入し、その合計額を収入額欄に記入します。

様式第28号

(記載例) (科目ごとの支出内訳簿)

(科目) 教 化 布 教 費

(自 年 月 日至 年 月 日)

日 付	摘 要	現金出納簿当該頁	予 算 額	支 出 額	予算残高
○年○月○日	当初予算 (△年△月△日議決)		2,000,000円		
4月1日	教義PR用パンフレット印刷	1		1,100,000円	900,000円
4月5日	宗教教師育成研修	1		100,000円	800,000円
4月7日	関東地区布教活動時交通費	1		150,000円	650,000円
□月□日	減額補正 (□年□月□日議決)		200,000円		300,000円
合 計			1,800,000円	1,795,000円	5,000円

- [注] 1 収支予算書の支出科目ごとに作成します。
 2 第1行目の予算額欄には、当初予算額を記入します。
 3 現金出納簿から転記する際に、同一日、同一科目について2以上の収入があるときは、摘要欄に「何々ほか」と一括して記入し、その合計額を収入額欄に記入します。

様式第29号

(記載例)

月別科目別収支集計表

収入の部

科目	1 宗教活動収入				2 資産管理収入	3 雑収入	4 繰入金収入	5 預り金		9 前年度繰越金			合計額
	(1) 宗教活動収入	(2) 会費収入	(3) 寄附金収入	(4) 助成金収入	(1) 資産運用収入	(1) 雑収入	(1) 繰入金収入	(1) 源泉所得税	(2) 住民税	(1) 前年度繰越金			
予算額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
月別	10,000,000	1,000,000	10,000	10,000	100,000	0	200,000	300,000	100,000	5,700,000			17,420,000
4	400,000	500,000	10,000	0	50,000	0	200,000	25,000	8,700	5,700,000			6,893,700
5	800,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			833,300
6	800,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			833,300
7	500,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			533,300
8	900,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			933,300
9	850,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			883,300
10	600,000	500,000	0	0	50,000	0	0	25,000	8,300	0			1,183,300
11	950,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			983,300
12	1,200,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			1,233,300
1	1,500,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			1,533,300
2	700,000	0	0	0	0	0	0	25,000	8,300	0			733,300
3	800,000	0	0	10,000	0	0	0	25,000	8,300	0			843,300
合計額	10,000,000	1,000,000	10,000	10,000	100,000	0	200,000	300,000	100,000	5,700,000			17,420,000

支出の部

科目 月別 予算額	1 宗教活動支出				2 法人管理支出						3 人件費				4 預り金支出		5 借入金	9 次年度繰越金	合計額
	(1) 儀式行事費	(2) 教化布教費	(3) 慶弔費	(4) 育成費	(1) 会議費	(2) 事務費	(3) 負担金	(4) 修繕費	(5) 保険料	(6) 公課費	(1) 給与手当	(2) 社会保険料	(3) 退職金	(4) 福利厚生費	(1) 源泉所得税	(2) 住民税	(1) 借入金	(1) 次年度繰越金	
	円 2,000,000	円 1,000,000	円 500,000	円 1,500,000	円 200,000	円 350,000	円 500,000	円 500,000	円 100,000	円 500,000	円 5,000,000	円 300,000	円 0	円 50,000	円 300,000	円 100,000	円 200,000	円 4,320,000	円 17,420,000
4	100,000	100,000	50,000	150,000	10,000	20,000	500,000	0	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,700	0	0	1,238,700
5	200,000	50,000	0	50,000	20,000	30,000	0	0	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	658,300
6	150,000	50,000	100,000	150,000	20,000	30,000	0	0	0	500,000	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	1,308,300
7	200,000	100,000	50,000	150,000	0	30,000	0	0	100,000	0	1,000,000	25,000	0	20,000	25,000	8,300	0	0	1,708,300
8	250,000	100,000	50,000	150,000	0	40,000	0	0	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	200,000	0	1,098,300
9	200,000	50,000	50,000	100,000	20,000	30,000	0	0	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	758,300
10	100,000	50,000	0	50,000	10,000	20,000	0	200,000	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	738,300
11	150,000	100,000	50,000	150,000	20,000	30,000	0	0	0	0	250,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	808,300
12	250,000	100,000	100,000	200,000	20,000	40,000	0	0	0	0	1,350,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	2,118,300
1	200,000	100,000	0	100,000	20,000	30,000	0	0	0	0	300,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	0	808,300
2	100,000	100,000	0	100,000	30,000	20,000	0	0	0	0	300,000	25,000	0	30,000	25,000	8,300	0	0	738,300
3	100,000	100,000	50,000	150,000	30,000	30,000	0	300,000	0	0	300,000	25,000	0	0	25,000	8,300	0	4,320,000	5,438,300
合計額	2,000,000	1,000,000	500,000	1,500,000	200,000	350,000	500,000	500,000	100,000	500,000	5,000,000	300,000	0	50,000	300,000	100,000	200,000	4,320,000	17,420,000

様式第30号
(記載例)

年度現金出納簿

(自 年 月 日至 年 月 日)

日付	摘要		証拠書類番号	収入	支出	差引残高
	科目	説明				
4月1日	繰越残高	前年度より		320,000円		320,000円
4月2日	事務費	机	1		38,000円	282,000円
4月5日	会費収入	信者会費	2	100,000円		292,000円
		4月計		〇〇〇〇円	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円
5月〇日	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇円		〇〇〇〇円
5月〇日	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇		〇〇〇〇円	〇〇〇〇円
		5月計		〇〇〇〇円	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円
合計		累計		〇〇〇〇円	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円

- 〔注〕 1 現金の収入または支出があったときは、そのつど記入します。
 2 日付順に記入します。
 3 年度末の現金残高は、そのまま翌年度の収入欄に転記します。
 4 支出に際しては、必ず領収書（領収書が取れないときは、支出証明書を作成する。）をとり、それに年度の初めから一連番号を付け、その番号を証拠書類番号欄に記入してください。
 なお、証拠書類は、5年以上保管してください。

様式第32号

(記載例) (特別財産台帳 (規則で定める特別財産の手続を経たもの))

宝 物 台 帳

番号	品 目	所 在	数量	品質形状寸法	評 価 額	取得年月日	備 考
1	観世音菩薩像	本 堂	1	木造30cm立像	2,200,000 ^円	不 詳	〇〇〇〇作

[注]

- 1 品目欄には、本尊、神像、仏像等礼拝の対象となる物件のほか、重要文化財相当以上のものを記載することが望ましい。
- 2 所在欄は、本堂、宝物館等宝物の所在を記入します。
- 3 作者、由来等については、備考欄に記入します。
- 4 その他財産台帳に共通する事項は、次のとおりです。
 - (1) 法人の一切の財産について、規則で定める資産別に区分し、1棟、1筆、1組、1点ごとに記入します。ただし、動産の同一品目で、取得価格、取得年月日等を同じくするものはその点数をまとめて記入してもかまいません。
 - (2) 新規購入又は寄贈を受けた場合は、その都度追加記入し、き損、紛失、処分等の場合は、該当欄を抹消し、備考欄に消失等年月日及び理由を記入し、常に台帳面と現状を一致させておきます。
 - (3) 財産の評価換えを行った場合は、その年月日について備考欄に記入します。

什 物 台 帳

番号	品 目	所 在	数量	品質形状寸法	評 価 額	取得年月日	備 考
1	般若心経写経	本 堂	1	30cm×120cm 横長巻物	不 詳 ^円	鎌倉時代中期との 伝承	

[注]

- 1 品目欄には、宝物に準ずるもので宗教行事に不可欠のものを記入することが望ましい。
- 2 作者、由来等については、備考欄に記入します。

様式第33号

(記載例) (基本財産台帳 (規則で定める基本財産の手続を経たもの))

土 地 台 帳

番号	所在地	地目	用途	地積	評価額	取得年月日	備考
						----- 登記年月日	
1	前橋市〇〇町〇丁目〇-〇	境内地	境内 建物敷地	1,230 m ²	15,600,000 円	〇. 〇. 〇 ----- 〇. 〇. 〇	
2	前橋市〇〇町〇丁目〇-〇	〃	〃	830 m ²	9,600,000 円	〃 ----- 〃	

- [注] 1 一筆ごとに記入します。
2 包括団体への届出等については、備考欄に記入します。

建 物 台 帳

番号	所在地	地目	用途	地積	評価額	取得年月日	備考
						----- 登記年月日	
1	前橋市〇〇町〇丁目〇-〇	木瓦 平造 葺屋	本堂 (本殿)	430 m ²	28,600,000 円	〇. 〇. 〇 ----- 〇. 〇. 〇	
2	前橋市〇〇町〇丁目〇-〇	〃	庫裏 社務所	830 m ²	19,600,000 円	〃 ----- 〃	

- [注] 1 一棟ごとに記入します。
2 包括団体への届出等については、備考欄に記入します。

有価証券台帳

番号	銘柄	数量	記号番号	額面	率配当	取得価格	取得年月日	備考
				円		円		

預貯金台帳

番号	預金の種類	預貯金先	証書等の 記号番号	利率	金額	預入	備考
						満期	
					円		

様式第34号

(記載例) (普通財産台帳 (特別財産、基本財産以外のすべての財産の台帳))
 (普通財産の土地台帳、建物台帳、有価証券台帳、預貯金台帳は基本財産の様式に準ずる。)

車 両 台 帳

番号	品 名	数 量	取 得 価 格	取得年月日	備 考
1	自 動 車	1	1,500,000 ^円	○.○.○	○○自動車 1,000cc 1台

[記入上の注意]

- 1 自動車、オートバイ、動力機械、船舶等について記入します。

什 器 備 品 台 帳

番号	品 名	数 量	品質形状寸法	単 価	総 額	取 得 年 月 日	備 考
1	両袖机	1	スチール製 縦1m 横80cm	50,000 ^円	50,000 ^円	○.○.○	
2	会議用テーブル	3	スチール製 縦 180cm 横 45cm	20,000 ^円	20,000 ^円	○.○.○	
3	電話	1		85,000 ^円	85,000 ^円	○.○.○	

[注]

- 1 責任役員会で一定の額 (例えば30,000円) 以下の物品は、財産台帳に登録しない旨を議決している法人にあっては、その金額以上のものについてのみ記入しても差し支えありません。

2 一組、一点ごとに記入します。

図 書 台 帳

番号	図 書 名 等	数 量	取 得 価 格	備 考
1	世界大百科事典	全30巻	円 268,000	
2	仏教大事典	全15巻	円 300,000	